


平成28年度 医動物・食品中異物検査のまとめ

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者等の依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。平成28年度の食品中異物検査実績は2件で、ともにコウチュウ目でした。

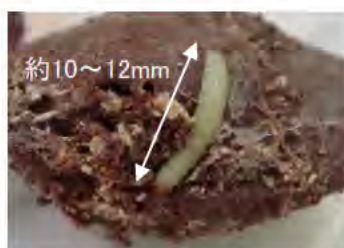
今回は、同定結果の詳細を報告します。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
粉末食品に虫が混入していた。		ヒメマルカツオブシムシの幼虫 (コウチュウ目)	ヒメマルカツオブシムシの幼虫は広食性で、毛織物やかつおぶし、煮干など、動物質の乾燥食品を好むが、玄米や小麦など植物質の食品も加害する。 成虫は年1回、5、6月頃に発生する。
ラスクに虫が混入していた。		マダラカツオブシムシ属の幼虫 (コウチュウ目)	マダラカツオブシムシ属のうち、いくつかの種は植物性食品を好み、貯穀や乾燥食品を食害する。 成虫は餌をとらずに交尾、産卵できる。

ノシメマダラメイガとタバコシバンムシ

虫たちが元気(?)に動き回る季節がやってきました。今回は、食品害虫として報告が多い2種類の虫を紹介します。ノシメマダラメイガの幼虫は、お米などの穀類や豆類、チョコレートなどを食害し、成虫は4月頃から現れます。タバコシバンムシの幼虫は、穀類の粉、香辛料など乾燥食品類を食害し、成虫は5月頃から現れます。

お家の中で長期保管している食品が、虫たちに食害されているかもしれません。食べる前によく確認して、開封後は早めに食べましょう。



ノシメマダラメイガ



タバコシバンムシ

